

専門分野

小児看護学

目的 小児の特性を理解し、成長・発達に応じた養護と健康障害をもつ小児及び家族に対する看護の基本的能力を養う。

- 目標
- (1) 小児の成長発達過程及び小児を取り巻く環境の意義、小児看護の変遷、看護の役割を理解できる。
 - (2) 健康な小児の日常を理解し、対象に必要な看護を実践できる基礎的知識・技術を習得できる。
 - (3) 小児各期に特有な健康問題と健康障害をもつ小児と家族に対する援助方法を身につけることができる。

科目	単位 (時間)	科目目標	主な内容
小児看護概論	1 (30)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ライフサイクルから見た小児各期の特徴を理解できる。 2. 小児とその家族の特徴を理解できる。 3. 小児看護の理念、目的、役割を理解できる。 4. 健康な小児の日常生活を理解できる。 5. 健康な小児各期の日常生活援助の方法を理解できる。 	小児看護の特性と変遷 小児看護の目標と役割 成長発達 親子関係・家族・小児の統計 法律と政策 現代社会の子どもの問題 栄養とあそび・安全
小児看護援助論	1 (30)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児の罹患しやすい疾患の病態と看護を理解できる。 2. 健康障害や入院が小児に及ぼす影響を理解し、看護に活かすことができる。 	小児の罹患しやすい疾患の講演会 疾患別・症状別の看護
小児看護援助技術	1 (30)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康障害や入院が小児に及ぼす影響を理解できる。 2. 小児の健康回復における家族の協力と援助指導を理解できる。 3. 小児病棟における看護管理の必要性を理解できる。 4. 小児看護に必要な基本技術を習得できる。 5. 健康段階に応じた看護を理解できる。 6. 小児事例を通して看護過程を展開できる能力を身につける。 	小児における疾病の経過 検査、処置を受ける小児の看護 病棟における安全管理 療養上の世話に関する技術 診療に伴う看護技術 看護過程の展開
小児看護学実習	2 (90)	<ol style="list-style-type: none"> 2. 正しい観察技術を身につけ、方法を理解できる。 2. 対象の安全管理を理解し、感染予防・事故防止に努めることができる。 3. 対象及び家族を取り巻く環境や日常生活援助を理解できる。 4. 対象の発達段階、健康障害を理解し、看護援助を実践できる。 5. 重症心身障害児に対する理解を深めることができる。 6. 自己の小児観を明らかにし、小児看護のあり方について考えることができる。 	年齢、月齢別対象理解 安全管理・事故防止 感染予防・体調管理 発達段階に応じたあそびと学習 小児特有の健康障害と回復過程を支える看護 発達段階に応じた看護 家族への援助 看護過程の展開